



平成 31 年 2 月 26 日
独立行政法人国立科学博物館

第 7 回 ヒットネット(HITNET) ミニ企画展 「日本の航空博物館－日本の産業技術－」開催について

国立科学博物館(館長:林 良博)では、日本の産業系博物館等の資料を検索できる共通データベース(ヒットネット=HITNET)を構築し、公開してきています。産業技術に関する資料を所蔵・展示している多くの産業系博物館が日本各地に存在することを紹介するために、このたび、ヒットネットに登録している 147 館から、「航空」に関連する 4 館を紹介するミニ企画展を開催します。各館に展示されている貴重な飛行機や航空に関するエピソードなどをお楽しみください。パネルや展示品を見ながら、日々の生活を支え、豊かな文化を育んできた産業技術の面白さや、技術の歴史を見る楽しさを感じていただければ幸いです。

つきましては広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

記

- 【名 称】 第 7 回ヒットネット(HITNET)ミニ企画展 「日本の航空博物館－日本の産業技術－」
- 【会 場】 国立科学博物館 地球館 2 階 (東京都台東区上野公園 7-20)
- 【開催期間】 平成 31 年 3 月 5 日(火)～4 月 14 日(日) 41 日間
- 【料 金】 常設展示入館料のみでご覧いただけます
- 【休 館 日】 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は火曜日)。3 月 25 日と 4 月 1 日は臨時開館。
- 【開館時間】 9:00～17:00、金曜日と土曜日は 20:00 まで
※入館は各閉館時間の 30 分前まで
- 【主 催】 国立科学博物館
- 【共 催】 青森県立三沢航空科学館 (青森県三沢市)
石川県立航空プラザ (石川県小松市)
所沢航空発祥記念館 (埼玉県所沢市)
航空科学博物館 (千葉県芝山町)

【ヒットネット=HITNET】では、日本全国の登録した産業系博物館等が収蔵・展示する資料を横断的に検索・閲覧することができます。ホームページ(<http://sts.kahaku.go.jp/hitnet/>)から、関心のあるキーワードを入力すると、データベース内の該当する情報が表示されます。私たちの生活を豊かにしてきた産業技術のルーツや、技術者・職人たちの創意工夫の跡を見ることができます。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

産業技術史資料情報センター ヒットネットミニ企画展担当: 久米・井川・久保田

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 筑波研究施設内

TEL: 029-853-8394 FAX: 029-853-8492

E-mail: sts2006@kahaku.go.jp

URL: <http://sts.kahaku.go.jp/>

ヒットネット [HITNET] ミニ企画展

第7回

日本の航空博物館

—日本の産業技術—

産業技術のおもしろさを感じてみよう!



国立科学博物館

Archives of History of Industrial Technologies Networking Japanese Industrial Museums

東京大学総合学術博物館 / 電気の史料館 / 北海道博物館 / パナソニックミュージアム 松下幸之助歴史館 / 東芝未来科学館 / シャープミュージアム / リリタミュージアム / 東京理科大学近代科学資料館 / 和銅博物館 / 横河電機(横河アーカイブス) / 竹中大工道具館 / トヨタ博物館 / 五十嵐健治記念洗濯資料館 / 石川県立航空プラザ / 花王ミュージアム / 味の博物館 / 呉市海事歴史科学館 / 大和ミュージアム / マツダミュージアム / 三菱オートキャリヤ / ヤマハ発動機コミュニケーションプラザ / ミノホ測定博物館(沼田記念館・測定機器館) / 高岡市鑄物資料館 / 東京農工大学科学博物館 / 日野オートプラザ / おれと切手の博物館 / スバルピクチャーセンター / 日産エンジンミュージアム / セイコーミュージアム / 神戸大学 海洋博物館 / 日本ペイント 歴史館 / 日本ペイント 明治記念館 / Honda Collection Hall / 東京都計量検定所計量資料室 / 味の素KKI崎崎事業所資料展示室 / 神戸海洋博物館 / 日本カメラ博物館 / 中富記念くすり博物館 / 宮崎大学農学部附属農業博物館 / 武蔵野音楽大学楽器博物館 / 家員の博物館 / GUS MUSEUM がす資料館 / 産能ハナージョコレクション / 消防博物館 / TDK歴史みらい / 山形謄写印刷資料館 / 物流博物館 / 日本のおかり博物館 / 貨物鉄道博物館 / 伊能忠敬記念館 / 倉紡記念館(クラボウ) / 日本新聞博物館 / 佐賀県山形陶磁文化館 / 三菱重工長崎造船所史料館 / 日本工業大学工業技術博物館 / ナイガィ靴下博物館 / テクニカキャリヤ / スズキ歴史館SUZUKI PLAZA / シンクルト記念館 / 四国自動車博物館 / 京セラファインセラミック館 / KYB史料館 / 電卓の歴史コーナー / いの町紙の博物館 / 那覇市伝統工芸館 / 所沢航空発祥記念館 / トモエ牛乳博物館 / 象印マホービン株式会社 まほうりん記念館 / 一般財団法人清水汽港湾博物館 / 東京都水道歴史館 / 明治薬科大学明薬資料館 / 小樽市総合博物館 / MIZKAN MUSEUM 住友化学愛媛工場歴史資料館 / たばこての博物館 / 函の博物館 / UECコミュニケーションミュージアム / 直方市石灰記念館 / 北見ハッカ記念館・北見薄荷蒸溜館 / 金沢蓄音器館 / 航空科学博物館 / 尚古集成館 / UCCコーヒー博物館 / 焼津漁業資料館 / 新聞博物館(熊本日日新聞社) / ALPS Museum 未来工場 / 網走市立郷土博物館 / リサイクルプラザ紙遊館 / 島津製作所 創業記念資料館 / 土と土の博物館[土の館] / 瀬戸蔵ミュージアム / 那覇市立屋座焼物博物館 / 生物系特定産業技術支援センター農業機械化研究所資料館 / TOTOミュージアム / 熊本大学五高記念館 / 熊本大学工学部研究資料館 / 日本郵船歴史博物館 / 櫻尾俊雄発明記念館 / 門司電気通信レトロ館 / 観音寺市郷土資料館分館 / 豊浜郷土資料館 / 琴平海洋博物館(海の科学館) / めがねミュージアム / 明治大博物館 / うちわの港ミュージアム / 仙台市歴史民俗資料館 / スリーエム仙台市科学館 / 石川県金沢港大丸かくり記念館 / 金沢大学資料館 / 市立函館博物館 / 長崎大学附属図書館 / フジフィルム スクエア 写真歴史博物館 / ニッパバオアート館 / 北九州イノベーションギャラリー(KIGS) / センリン地図の資料館 / 月桂冠大倉記念館 / 阿波池田たばこ資料館 / 函館市青函連絡船記念館摩周丸 / 橋の科学館 / 四国鉄道文化館 / 鉄道博物館 / 雪印メグミルク酪農と乳の歴史館 / 赤穂市立海洋科学館・塩の国 / 内藤記念くすり博物館 / 三木市立金物資料館 / ヤマヤマミュージアム / 大分香りの博物館 / 青森県立三沢航空科学館 / 青森市森林博物館 / おもひのたまほは歴史館 / 磐田市香りの博物館 / トヨタ産業技術記念館 / 別府市竹細工伝統産業会館 / 琵琶湖疏水記念館 / 秋田県立農業科学館 / 和歌山市立博物館 / 大牟田市石灰産業科学館 / 鳥取二十世紀梨記念館 / 宮古島市総合博物館 / 福島県立博物館 / 印傳博物館 / 二戸市平清センター・田中館愛猫記念科学館 / 北海道立北方民族博物館 / 山口県立山口博物館 / 京都大学化学研究所 碧水舎 / 美杉市歴史民俗資料館 / 水く建設 技術研究所 建設技術歴史展示室 / 郵政博物館 / 国立科学博物館 (登録済)

(登録順)

世界の牛乳パック

世界の牛乳パック
アメリカ・ヨーロッパ・アジア等の牛乳パックは200・500・1000
の形態は屋根型、レンガ型。内容量は200・500・1000mlのものから
選べる。年代：1960年代のものから

産業技術史資料とは

「産業技術史資料」とは、日本の産業技術の歩みを示す実物の資料をいい、日本全国にある産業系博物館などが所蔵し、それらのうちの多くが一般に公開されています。これらの産業技術史資料から、私たちの生活を豊かにしている産業技術のはじまりや移り変わり、当時の技術者や職人たちの創意工夫の跡を見ることができます。

産業系博物館の展示分野

◆映像・情報、コンピューター



ウォークマン



卓上電話機

◆電気、電力



ガス自動炊飯器



ロータリースイッチ

◆産業用、業務用機器他



足踏式木製旋盤



ボール盤

◆自動車・船等、汎用機械



キハ65形急行用気動車



客船模型「浅間丸」

◆金属



南部鉄器

現代刀

◆化学、印刷



レンズ付フィルム



化学天秤

◆繊維・紙・木製品



絹紗織機



糸車

◆鉱業、建設、窯業



明石海峡大橋
ケーブル&ケーブルパン



色絵梅花寫文瓶

◆食品、農林漁業



蒸機トラクター



大倉式猪口付き罎

◆その他、サービス業等



六分儀



手回し洗濯機



青森県立三沢航空科学館

《青森県三沢市》

Misawa Aviation & Science Museum, Aomori

大空と飛翔をテーマとした航空と科学の博物館



- 青森県三沢市大字三沢字北山158
- 電話：0176-50-7777
- <http://www.kokukagaku.jp/>



●青森県三沢市は、かつて、日本からアメリカ本土までの太平洋無着陸飛行に挑戦した多くの冒険者たちが飛び立った地であり、はじめて成功したミス・ビードル号も三沢市の海岸から出発しました。今は、航空自衛隊、在日アメリカ軍と民間航空が共用する三沢空港があり、大空のまちづくりが進められています。当館は、三沢市の「三沢大空ひろば」の隣に開設された航空博物館です。ミス・ビードル号をはじめ1938（昭和13）年に周回飛行距離の世界記録を打ち立てた航研機の復元機、戦後の国産旅客機YS-11など沢山の飛行機や資料が展示されています。

ミス・ビードル号が太平洋を飛んだ

1927（昭和2）年、冒険飛行家リンドバーグがニューヨーク＝パリ間の初の大西洋単独無着陸飛行に成功し、次の目標は、より距離の長い太平洋無着陸横断飛行と



ミス・ビードル号（復元機）。航続距離を伸ばすため、約3600リットルの燃料を搭載

なりました。アメリカへの最短コースである「大圏コース」を飛ぶために三沢の淋代海岸が出発地として選ばれ、いく人もの挑戦者が飛び立ったものの挑戦はみな失敗。そして1931（昭和6）年10月4日、クライド・パングボーンとヒュー・ハートソンはミス・ビードル号で飛び立ち、約41時間後にワシントン州ウェナッチ市に胴体着陸し、太平洋無着陸横断飛行を成し遂げました。

青森のりんごが甘くなったのは？

ミス・ビードル号が飛び立つとき、紅玉りんご数十個を差し入れました。この返礼にウェナッチ産の「リチャードデリシャス」りんごが送られてきましたが、検疫で返送されてしまいました。そこで検疫上問題のないその苗木5本が青森県苹果試験場に寄贈され、青森のりんごは甘いデリシャスりんごへと移り変わり、りんご王国青森に大きく貢献しました。

日本の航空技術を結集した航研機

航研機は、東京帝国大学（現・東京大学）航空研究所が設計した純国産の試験機です。1938（昭和13）年5月13日に木更津飛行場を離陸し、銚子市から太田市を経て平塚市から



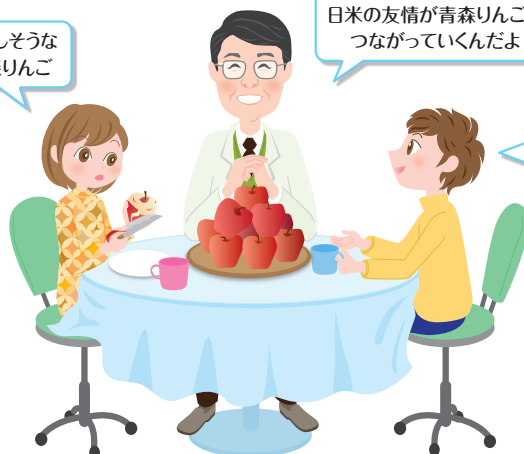
航研機（復元機）。風防がなく離発着時はパイロットが窓から顔を出すなど機能に徹した独特の機体

再び木更津に戻る周回コースを29周し、周回航続距離10,651.011kmと1万kmコース平均速度186.192km／時のふたつの世界記録を樹立しました。当館には当時の日本の航空技術を示す展示として、航研機の実物大復元機が展示されています。

おいそうな
青森りんご

ビードル号がつないだ
日米の友情が青森りんごに
つながっていくんだよ

青森の
りんご秘話だね



石川県立航空プラザ

Ishikawa Aviation Plaza

《石川県小松市》

小型機からジェット戦闘機まで日本海側唯一の航空博物館



- 石川県小松市安宅新町丙92
- 電話：0761-23-4811
- <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/aviation/>



●石川県立航空プラザは、1995（平成7）年に開館した日本海側では唯一の航空博物館で、前方には民間航空と航空自衛隊が共同で利用する小松空港が望めます。当館では、航空機の誕生から現在に至るまでの歴史や、航空宇宙技術の発達の過程を、模型や図表などで分かりやすく解説しています。屋内には、実機の展示と大型遊具「ぶ～んぶんワールド」という子どもたちが季節や天候を問わず楽しめる施設もあります。国際化を目指す小松空港のシンボルのひとつとして、小松空港の発展と地域の振興に貢献しています。

触れる、乗れる 体験展示

当館では、超小型レジャースポーツ機から自衛隊のジェット戦闘機まで17機の実機を屋内で展示。その中には日本の南極観測に使用した「ピ



全日空（ANA）が実際に使用していた国産旅客機YS-11Aフライトシミュレーター

ボポーター」などもあります。また、YS-11Aのフライトシミュレーターを操縦する体験コーナーもあります。

さらに、係の人に申し出れば、第2代ブルーインパルスチームが使用した「三菱T-2超音速高等練習機」、航空自衛隊の「F-104J スターファイター迎撃戦闘機」のcockpitに搭乗し、パイロット気分で操縦桿を握る体験ができます。



曲技飛行チームブルーインパルスが使用していた三菱T-2超音速高等練習機のcockpit

日本初のアエショーパイロット・ロック岩崎の愛機が当館で見られます。

日本と世界の 航空史が学べるよ

1903（明治36）年にライト兄弟が世界初の有人動力飛行に成功して以降、多くの冒険者により様々な記録が打ち立てられました。

当館は、航空史と名機を一堂に紹介



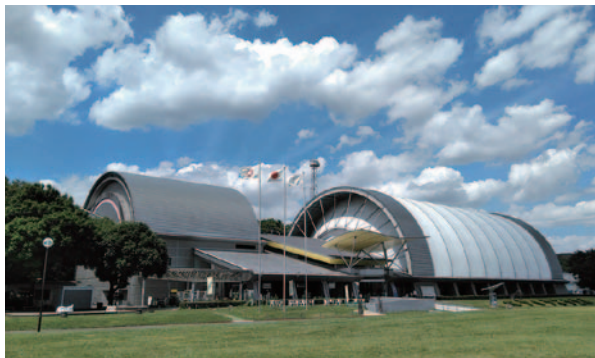
社会情勢などを背景に、航空機と航空産業の発展を時代とテーマで解説

する展示が充実。第一次世界大戦中に航空機が大きく発展した「空の騎士の時代」、その後民間航空が花咲いた「黄金の時代」など、軍用機・民間機の分け隔てなく航空機や航空産業がどのように発展してきたかについて、たくさんの模型と写真で解説しています。また、三大陸単独横断飛行の偉業を達成した石川県出身で「東洋のリンドバーク」と呼ばれた偉人・東善作のコーナーもあります。



民間機・軍用機の模型が勢揃い

航空発祥の地「所沢」から日本における航空の幕開けを紹介



- 埼玉県所沢市並木1-13 所沢航空記念公園内
- 電話：04-2996-2225
- <https://tam-web.jsf.or.jp/>



●1911(明治44)年、日本初の飛行場として開設された「所沢飛行場」は、現在、所沢航空記念公園として整備され、市民に親しまれています。当館は、「日本の航空発祥の地・所沢」を記念して建設された航空博物館です。館内には初期の国産機レプリカ、自衛隊で使用されていた練習機、航空管制卓などの展示をはじめ、所沢から発展していった日本の航空史を描くとともに、飛行機が飛ぶ原理を学ぶ装置など、航空に関する幅広い情報が展示されています。また、西武新宿線航空公園駅前には国産旅客機YS-11を保存しており、内部が期日限定で公開されています。

所沢は日本の航空発祥の地

1903(明治36)年のライト兄弟による初飛行から7年、1910(明治43)年12月19日、陸軍の徳川好敏大尉と日野熊蔵大尉により日本初の動力飛行が代々木練兵



場で記録されました。翌1911(明治44)年4月、国内初の飛行場として「所沢飛行場」が開設。以後、所沢飛行場では、航空機操縦訓練や機体の整備・開発・製造などが行われ、その後、航空機産業へと続きました。所沢で産声を上げた日本の航空技術は、やがて世界記録を打ち立てた「航研機」などにつながっていきます。当館は、航空発祥の地・所沢から、その歴史や科学・技術を通して、航空への興味・関心を喚起しています。



徳川好敏大尉

所沢飛行場とフランス航空教育団

所沢飛行場には、操縦訓練・機体整備・開発製造など航空に関わる各種の学校が創設され、操縦士の養成、新型機開発や飛行試験など重要な役割を担いました。し



フランス航空教育団が来日した頃の所沢飛行場

かし、先進国とはまだまだ大きな差がありました。そこで陸軍は、当時最先端の航空技術を有していたフランスに、航空機材の購入と指導者の派遣要請を行い、それが1919(大正8)年にフォール大佐を代表とする「フランス航空教育団」来日というかたちで実現しました。同教育団は、所沢をはじめ日本各地で、最新の航空技術を伝え、日本の航空発展の礎として多大な貢献をしました。



フランス航空教育団

所沢飛行場は、たった4機の飛行機から始まったんだよ

成田国際空港に隣接し民間航空機の離着陸を間近に見られる



- 千葉県山武郡芝山町岩山111-3
- 電話：0479-78-0557
- <http://www.aeromuseum.or.jp/>



●航空科学博物館は、日本の空の玄関口である成田国際空港の滑走路南端に位置する航空博物館です。そのため、展望室では航空機の離着陸を間近に見ることができます。屋外展示場には国産旅客機YS-11の試作1号機をはじめとする様々な航空機が展示され、館内には航空機の楽しさを伝える展示物が揃っています。中でも、「ジャンボジェット」の名で親しまれたボーイング747の展示が充実。「セクション41」と呼ばれるボーイング747-200型の機首部分など、その巨大な機体を実感させる迫力の展示が見物です。

空の旅を身近にした ジャンボジェット

ボーイング747は、1970(昭和45)年1月にニューヨーク＝ロンドン間に初就航し、その後世界の空の主演として活躍した大型ジェット機です。胴体前方の2階にも



機体幅は最大6.1メートルもあり、エコノミークラスで横に10列の配置もありました

客席のある巨大な機体で、最大500席を超える乗客を乗せることができます。ボーイング747の登場で空の大量輸送時代が到来し、航空機による旅行が大衆化しました。当館はボーイング747の胴体の輪切りを実物展示するなど、巨大さや特色をユニークな手法で紹介しています。また、ボーイング747-200の実機の機首部を展示公開し、コクピットなども見学ができます(有料)。



セクション41：有料整理券制でコクピットを見学でき、操縦席に座ることができます

成田国際空港への離着陸が 間近で見られる絶好エリア

成田国際空港は発着回数が年間25万回を超え、年間3300万人を超える国際線旅客が利用する大空港です。航空貨物取扱量も年間200万トンを超え国内第1位を

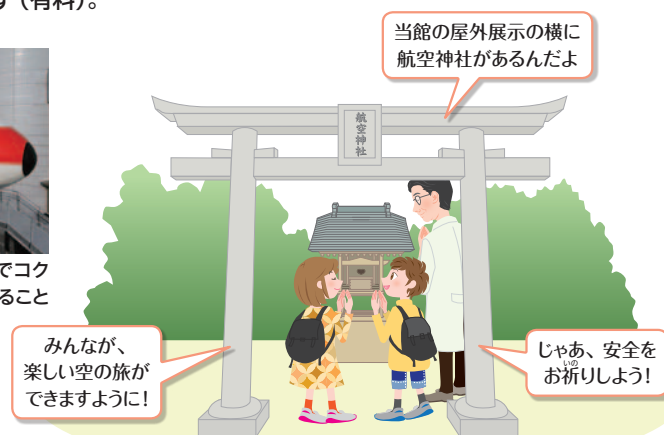


3階の展望台ではジェット機のエンジン音を感じることができます

誇り、世界各国の旅客機や貨物機が混雑時には数分毎に離着陸しています。当館は成田国際空港のA滑走路の南端にあり、3階展望台と5階展望展示室から滑走路、ターミナルビルや駐機場が一望できます。離着陸する航空機の迫力ある姿を間近に見ることができる絶好の展望スポットです。



5階の展望展示室は絶好の撮影スポットとして航空ファンでにぎわっています



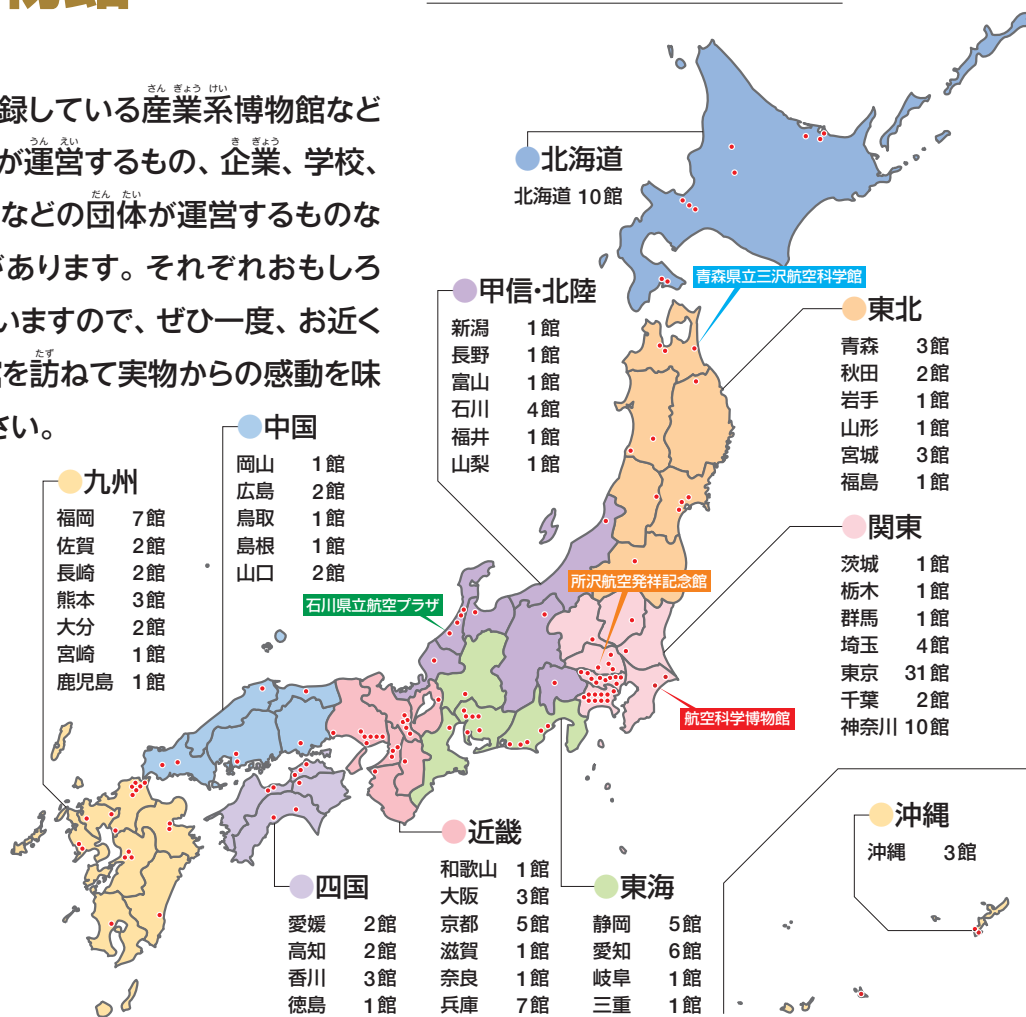
ヒットネットの 登録博物館

◆博物館所在地

ヒットネット登録博物館数 147館

ヒットネット登録資料件数 約25,200件

ヒットネットに登録している産業系博物館などは、地方自治体が運営するもの、企業、学校、各種協会・財団などの団体が運営するものなど様々な形態があります。それぞれおもしろい展示を行っていますので、ぜひ一度、お近くの産業系博物館を訪ねて実物からの感動を味わっててください。



ヒットネット ▶ <http://sts.kahaku.go.jp/hitnet/>



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

第7回 ヒットネット [HITNET] ミニ企画展

日本の航空博物館—日本の産業技術—

主催 独立行政法人国立科学博物館

共催 青森県立三沢航空科学館

石川県立航空プラザ

所沢航空発祥記念館

航空科学博物館

[青森県三沢市]

[石川県小松市]

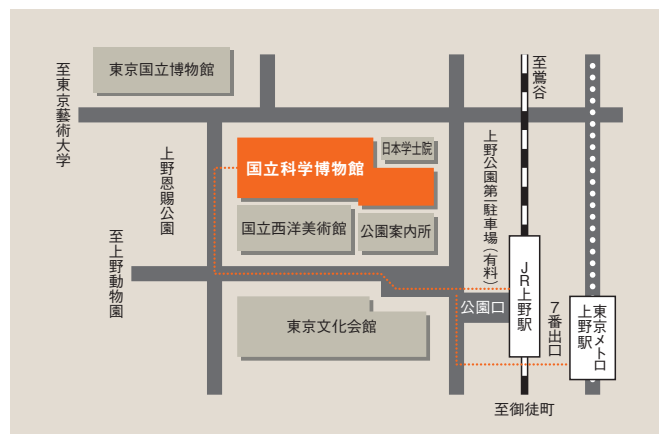
[埼玉県所沢市]

[千葉県芝山町]

開催期間 平成31年3月5日②～4月14日⑧

開催場所 国立科学博物館 地球館2階

東京都台東区上野公園7-20



【編集・発行】国立科学博物館 産業技術史資料情報センター

国立科学博物館 ©2019

本誌に掲載された記事、写真、図版等を許可なく複製することを禁じます。